

(お 知 ら せ)



平成20年12月 4日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所の近況について

敦賀発電所の近況について、以下のとおりお知らせします。

1. 運転状況について（12月4日現在）

（ ）内は定格電気出力

1 号 機 沸騰水型（35万7千kW）	第32回定期検査中 定期検査の工程表は別紙1のとおり
2 号 機 加圧水型（116万kW）	第16回定期検査中 定期検査の工程表は別紙2のとおり

2. 故障等の状況について（平成20年11月7日～平成20年12月4日）

（1）法律に基づく報告事象

○ 敦賀発電所2号機の定期検査の状況について

（敦賀発電所2号機高圧タービンからの蒸気漏れの調査状況）

敦賀発電所2号機は、平成19年8月26日から第16回定期検査中で、平成20年8月8日に調整運転を開始した後、9月16日、月1回実施しているタービン弁の定期試験後に現場を確認したところ、高圧タービン主蒸気入口配管付け根部付近を覆う保温材より僅かな蒸気漏れを発見し、当該部の点検を行うため、同日23時39分、原子炉を停止しました。

なお、本事象による周辺環境への放射能の影響はありませんでした。

（平成20年9月16日、9月19日、9月30日 発表済）

これまでの現場及び試験研究機関等における調査で、割れの特徴から、溶接作業後に発生する低温割れの可能性が考えられるものの、今回の割れの原因をさらに特定し、今後の対策を検討するため、試験研究機関および工場において、今回のタービン製作時のすみ肉溶接作業の再現試験などを実施中です。

（平成20年10月31日発表済）

（２）安全協定に基づく異常時報告事象

○ 敦賀発電所２号機の定期検査の状況について

（敦賀発電所２号機高圧タービンからの蒸気漏れの調査状況）

前述（１）の通り。

（３）保全品質情報等

○ 敦賀発電所１号機 原子炉圧力容器頭部冷却系ベント配管の変形について

敦賀発電所１号機（沸騰水型軽水炉：定格電気出力３５万７千キロワット）は平成２０年１１月７日より第３２回定期検査中のところ、原子炉停止に伴う原子炉格納容器内点検において、原子炉圧力容器頭部冷却系*１（以下、「ＲＨＣ系」という。）ベント配管*２の保温材と原子炉格納容器上蓋が干渉していることを確認しました。

原子炉格納容器上蓋開放後の１１月１０日に当該配管の保温材を取り外し、点検したところ、当該配管にわずかな変形が認められました。

このため、当該配管について、非破壊検査や耐圧検査を行い健全性を確認した結果、有意な指示や漏れなどの異常は認められませんでした。

ＲＨＣ系ベント配管の保温材と原子炉格納容器上蓋が干渉した原因について調査した結果、当該配管の敷設ルートを決するため、平成１８年７月に行った現場調査の際、現場が狭隘で暗所であったこと、水平方向の寸法計測において水平度の確認を行っていなかったことなどにより、寸法計測に誤差が生じ、干渉部には十分な間隔があるものと判断しました。この調査結果を元に当該配管の設計を行ったことにより、干渉したものと推定されました。

対策として、当該配管の敷設ルートを見直した新しい配管に取替えます。

また、現場調査を実施する際の寸法計測等が正確に行われるよう、現場の状況に応じ作業環境を改善するとともに、適切な計測器を使用し寸法計測を行います。

なお、本事象による周辺環境への影響はありません。

*１：原子炉停止後の冷却過程において、原子炉圧力容器の上蓋と中央部との温度差をなくす目的で、頭部に冷却水をスプレーする系統

*２：国内外ＢＷＲプラントにおいて、水の放射線分解で発生した非凝縮性ガス（水素、酸素）が配管内等で滞留し急速に燃焼することで配管が破断した事例に鑑み、第３１回定期検査（平成１９年２月１６日～平成１９年１０月３１日）において、運転中に流れがなく非凝縮性ガスが滞留する可能性があるＲＨＣ系配管に設けたガス抜き配管

（平成２０年１２月４日お知らせ）

３．敦賀発電所１号機第３２回定期検査について

敦賀発電所１号機は、平成２０年１１月７日から第３２回定期検査を開始しました。

（平成２０年１１月６日発表済）

4. 敦賀発電所2号機第16回定期検査の状況について

敦賀発電所2号機は、平成19年8月26日から第16回定期検査を実施し、平成20年8月3日に原子炉を起動、8月8日から調整運転を行っていましたが、前述のとおり、平成20年9月16日に原子炉を手動停止し、現在、高圧タービンの点検・調査等を行っています。

5. 敦賀発電所3, 4号機準備工事について（12月4日現在）

（1）防波堤・護岸等の構築

越波排水路の構築作業を実施しています。

（2）敷地造成工事

背後山地の切取工事を実施するとともに切取土による埋立工事を実施しています。また、現在付替水路の構築作業を実施しています。

6. その他

（1）公設消防機関との合同火災対応訓練の実施について

平成20年11月20日、敦賀発電所において、発電所の自衛消防組織と敦賀美方消防組合との連携機能の確認や初動対応要員の消火技能向上をはかることを目的に、また、総務省消防庁主催による「原子力施設における消防訓練のあり方に関する検討のためのモデル訓練※」としての基礎データを収集する目的を兼ねて敦賀美方消防組合と合同で火災対応訓練を実施しました。

※原子力施設における消防訓練のあり方に関する検討のためのモデル訓練について

平成20年7月、消防庁において「原子力施設における消防訓練のあり方に関する検討会」を開催し、原子力施設の防火安全対策の強化を図るため、公設消防署及び原子力事業所等向けの実践的な消防訓練のモデル計画作成等の検討を行っております。

今回の訓練では、このモデル計画作成等に必要の基礎データを収集しました。

（2）発電設備の総点検結果に係る再発防止対策「新行動計画25項目」の

平成20年度上期実施状況について

当社は、昨年度に引続き、新たに平成20年度の新行動計画として25項目の再発防止対策を策定し、トップマネジメントのもと安全第一を最優先に、全社一丸となって再発防止対策の実施に取り組んでおります。

なお、本年度上期の実施状況について、当社ホームページに下記のとおり掲載しました。

当社ホームページアドレス：<http://www.japc.co.jp/>

掲載欄：発電所の信頼回復に向けて

(3) げんでんふれあいギャラリー

＜個人・グループでの芸術活動、趣味の発表の場としてご利用頂いております。＞

1) 第23回 なごみの写仏展

〔敦賀写仏の会（代表：浅海 博様）の皆様による、写仏作品展です。当ギャラリーでの展示は4回目となります。敦賀写仏の会は昭和62年に発足し、教室は月1回開催されています。額装や掛軸など42点を展示中です。〕
(12/2～12/7)

2) パッチワークキルト展

〔敦賀市在住の山本 喜代子様と高浜町在住の田中 澄子様によるパッチワークキルト作品展です。当ギャラリーでの展示ははじめてとなります。タペストリーやバッグ・小物等約80点展示予定です。〕
(12/9～12/14)

3) 日本・イギリス小学生絵画交流展

〔当社とイギリスセラフィールド社が所在している地域の、児童絵画交流展です。テーマは「私たちの暮らし」で、敦賀市、茨城県東海村、イギリスセラフィールド地方の小学生のかわいらしい絵画を約100点展示予定です。〕
(12/16～12/28)

4) 2008年度 福井県小・中学生科学アカデミー賞 入賞作品展

〔福井県内の小・中学生が夏休みを中心に取り組んだ理科研究の優秀作品展です。小学生15,250点、中学生10,137点 合計25,387点から選ばれた、小・中学生個人の部最優秀賞（小・中各1点）などを展示予定です。〕
(1/6～1/11)

(4) げんでんふれあい福井財団イベント

＜福井県内の芸術・文化振興活動として以下の事業を実施します。＞

1) 日本・イギリス小学生絵画交流展オープニングセレモニー

〔当社とイギリスセラフィールド社が所在する地域の児童絵画交流展オープニングセレモニー〕
於：敦賀原子力館（12/6）

2) 第11回ふるさと大賞写真コンテスト作品募集締切（12/8）

テ ー マ：～ふるさとふくいの輝き～

(5) 次世代層への教育支援活動関連イベント

＜次世代層への環境・エネルギー等に関する教育支援活動として、以下の事業を実施します。＞

○ “げん丸塾” 会員のつどい

〔科学実験ショーと工作教室 対象：げん丸塾生（会員制）〕 於：敦賀原子力館（12/20）

(6) 地域交流イベント

＜地域との共生・交流活動として、以下の事業を実施します。＞

1) ミニ原子力講座&カルチャー教室

〔ミニ原子力講座とプリザーブドフラワー教室（午前の部・午後の部・夜の部）〕

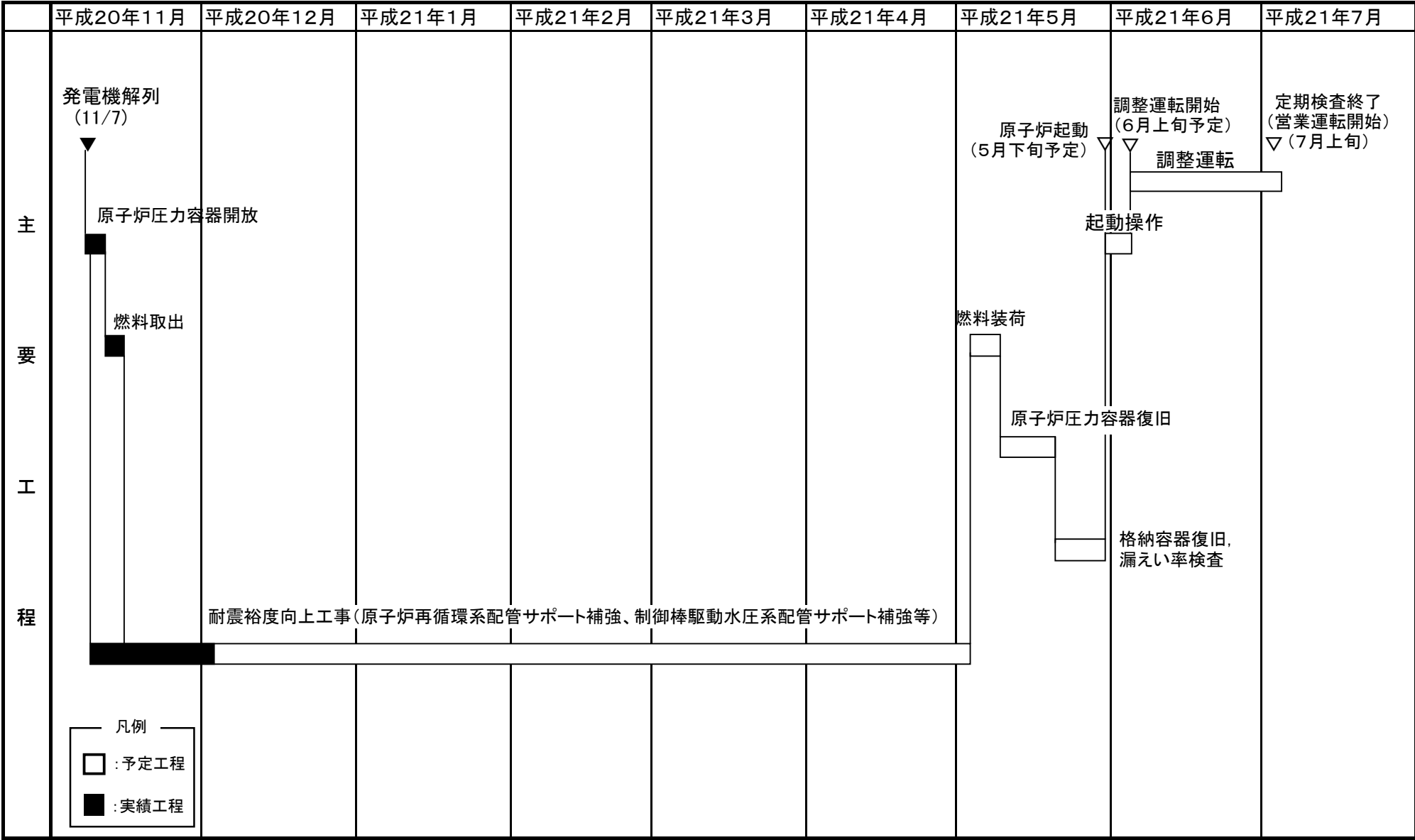
対象：一般公募（定員各 30 名）於：敦賀市福祉総合センター（あいあいプラザ）（12/5）

2) げんでんふれあいデー

〔科学実験ショーや人力発電などの体験を通じて、楽しみながらエネルギーの大切さをご理解
いただく内容。〕 於：ラブリーパートナー エルパ（福井市）（12/13）

以 上

敦賀発電所1号機第32回定期検査の作業工程



敦賀発電所2号機第16回定期検査の作業工程

